



C. BECHSTEIN

Concert

*The sound of excellence
Upright and grand pianos*

最高のピアノを作り出すドイツメーカー、ベヒシュタインの世界へようこそ

その目的は最高に洗練された耳を持ち、ピアノの可能性を最大限まで引き出そうとする演奏家を満足させることにあります。ベヒシュタインは、ピアノの製造において完璧なまでに高い技術をもつドイツのピアノメーカーです。

ベヒシュタインの工場では高度に訓練された専門的な技術者が、それぞれに音楽的に個性をもった唯一無二のピアノを作り出しています。こうした優れた楽器は、細部にまで配慮された条件がそろって初めて、誕生することが可能です。つまりは、材料は優れた特性を持つてなければならないため、細心の注意を払って準備される必要があります。この材料を、制御された温度のもとで管理し、そしてこれを最終的にピアノという楽器に真摯に向き合う工場の熟練した匠の手によって製造される必要があります。ベヒシュタインがベヒシュタインたるゆえんはこうした何年にもわたる努力の結果の末です。

ドイツの工場において誕生した最高のベヒシュタインピアノは、様々な工程がきわめて高度に複合的に、しかも時間を十二分にかけて構成されることにより初めて誕生しうる楽器です。このようにピアノに深い愛情を注ぎこむことにより、いわば宝石のような輝きをもつことができます。

ここからは、ベヒシュタインの匠たちをご紹介します。

Uwe Kretschmer
Peter Buttig
Torsten Dressler

仕上がりをチェックする責任者集団



ウーヴェ・クレツシュマー氏は1997年以来ベヒシュタインで木工職人として活躍しています。特に音響部に関わる様々な木材のテンション構造におけるスペシャリストです。「私は心をドキドキさせてくれる木というものに触れられるこの仕事が大好きで、長年にわたって末永く使うことのできる楽器を作りたい」といいます。

ペーター・ブッティヒ氏は1979年からベヒシュタインで働いています。彼は、自分の経験と感覚すべてを、響板の設計・材質研究にささげてきました。これはピアノの心臓ともいべき真にピアノの核心的部分なのですが、ここにピアノの持つ様々な音響的特性を集中させることに費やしてきました。「私は自分の仕事の複雑さを楽しんでいるし、ピアノをより良いものにする新しいアイデアを考えられるかもしれないと思うとワクワクしてくるのです」といいます。

トルステン・ドレスラー氏は1998年以来、特注モデルの製造において忍耐と努力を惜しむことはありませんでした。「私の仕事は自分が見習いだったころからどんどん面白くなってきていて、常に高い技術力を保ち豊富な経験を積んでいくことです。ベヒシュタインのピアノをより良いものにするに、私が影響を与えられると思うと、仕事が楽しくて仕方ないのです」といいます。



全体構造

ベヒシュタインが
作られるまで

ベヒシュタインの側板、内板は非常に頑丈で、壊れず、極度の緊張にも耐えることができます。ブナとマホガニーを積み重ねて型に接着し、決められた圧力をかけて形成します。コンサート・シリーズのための特別な木材や接着剤も慎重に選別することで、安定した音響が保証されます。

側板、内板をその後6か月の間、温度管理室で立てて保管します。内部の緊張を安定させ、一生涯一定に保つようにするためです。特別な装置が継続的に圧力と接着の乾燥具合、室内の温度や湿度を監視します。

ベヒシュタインは薄い響板をしっかりと支えるために最適なプロセスを踏みます。側板と響板は最高のコンビネーションを発揮し、大きく振動し、収縮せず、かつ緩むことのない状態を保ちます。

鳴り響く音

幸せをもたらす 音響体験

C.ベヒシュタインのドイツ工場にある特別
部署ではグランドピアノの響板の骨格を
作っています。ここでの製造工程が、一生
涯緊張を保ち安定した響板を生み出す要
となるのです。

C.ベヒシュタインのコンサート・シリーズの
響板は、いわば楽器の核です。トップアス
リートを細心の注意を払って監視するコ
ーチのように、熟練したピアノ製造者だけ
がこの最高品質の響板製造にかかわるこ
とができるのです。

原料となるヨーロッパトウヒは、ヴァル・デ
イ・フィエンメ(イタリア)の標高1000メー
トルに生えています。響板の輪郭は慎重に
形成されます。板の両端の切削や温度管
理室での乾燥時期など、ありとあらゆる要
素の結果から、あの複雑なカーブが作り
出されます。したがって、響板は数十年ほ
んの少しも振動することなく保管されるの
です。最高品質の木の板によって、C.ベヒ
シュタイン・コンサート・シリーズのピアノ
は、一音一音が、繊細に伸縮自在にかつ
エネルギーを失うことなく、つぼみが弾け
るように響きます。

こうして響板は音響エネルギーの伝播を
最大限に生かす能力を身に着け、C.ベヒシ
ュタイン・コンサート・シリーズのグランド
ピアノは研ぎ澄まされた音色を発するの
です。





アンドレアス・リヒターは2001年からベヒシュタインにいて、特に木材と響板の湾曲度との関係性など、木材加工のすべてを知っています。山岳のトウヒ材から木板を作り出し、そこに響棒や駒板を貼るという経験を経て、彼はある気候条件との連動を感じながら複雑なカーブ(クラウン)の木板を作り出しています。そのカーブは最適な共鳴を生成し、豊かで色鮮やかな声を生み出しています。

「われわれの楽器をさらに改良し続けることは、チャレンジそのものです。ベヒシュタインでの働く環境は、それぞれのピアノのベストな状態を引き出すことができます」

Andreas Richter

ピアノの最も重要な響板のスペシャリスト。
彼は謙虚にこういます。
「私は大合唱団の一員にすぎないよ」



Jochen Christoph

金属加工職人



ヨッヘン・クリストフ氏はベヒシュタイン
ザイフェナースドルフ工場で1980年から働
いています。前向きな性格で、自分の成果
に誇りをもち、毎日を新鮮に、素直に、ク
リエイティブに過ごすことを楽しんでいま
す。金属加工職人であり、発明の天才でも
ある彼は、困難な問題もその想像力で解
決へと導きます。

「ベヒシュタインで様々な金属加工の仕事
ができ、それぞれで最適な装置や製造プ
ロセスを築いていくことは純粋にうれしい
よ。私は仕事に身をささげている、そして
それは評価されるだろう。これこそが人生
さ!」



偉大なブランドの魅力

高貴な声を持ったドイツ製ピアノのエリートを体験してください

ヨッヘン・クリストフは主に金属加工に携わります。左の写真は、C.ベヒシュタイン・コンサート特有のねずみ鋳鉄でできる“サウンドベル”を磨いているところです。様々な製造工程で必要とされる専用工具や機械部品も、彼が作っています。

C.ベヒシュタインの最高の音色は、熟練した技術と最新の工学技術の融合から生まれます。最高品質のピアノ作りとは、各部品と各工程における職人たちの情熱を必要とします。まさに、贅沢の極みです。

目をひく鋳鉄フレーム

この傑作は伝統的な手法で作られます。溶鉄を摂氏1000度以上の砂の鋳型に流し込みます。そうしてできた鋳鉄は高炭素を含み、徐々に響板の自然な振動に良い影響を与えます。これは、ベヒシュタインの特質をつくりだす膨大な作業の中の一つに過ぎません。

ユニークな専門部署

ベヒシュタインは由緒ある歴史をたどっています。有名な音楽家たちとの交流や世界的な舞台でのコンサートの数々が、その偉大なドイツブランドを作り上げました。

このかけがえのない遺産を守り、安らぎの未来に向かうため、ベヒシュタインはR&Dをザクセンの工場内に設置しました。木材と金属の加工に携わる職人たちは、ピアノ製造マイスターや、音響専門家と手をと

り、究極の品質を求めて協働しています。世界でただ一つの、ベヒシュタイン・ピアノR&Dでは、試験の実施、品質管理、設計図の作成など、製造におけるすべての総括をしています。技師達は各部品や各工程の詳細を記録し、伝統を継承していきます。

豊富かつ貴重な経験を伝えていくため、2016年C.ベヒシュタインは専門部署を立ち上げました。最新の加工技術を探求する鋳鉄フレーム・センター、貴重な外装の楽器を非の打ちどころのないものとするための新たな外装処理・センター。新たな専門部署は、ザイフェナースドルフにて研究と品質保証のため、木材加工の専門家、金属加工の専門家が連携しています。

今日ベヒシュタインはヨーロッパにおけるアップライトピアノ、グランドピアノの主要メーカーとなりました。会社はドイツの株主によって支えられています。彼らも、気高い音楽文化を、世界中の人々をつなぐ音楽を守りたいという意思を持っています。世界中の音楽好きを魅了する、世界共通の「ことば」によって。

ベヒシュタインの匠の技

ベヒシュタインピアノはどれも相当の技術と細かなこだわりが集まったドイツピアノ製造の代表作です。とりわけアクションと音響部にいえるのは、個性をもった楽器を造るために匠たちが身をささげて出来上がった賜物だということです。

振動膜響板システムのコンセプトは、2011年に再活用されました。これは板や支柱、こま板の伸縮性とバランスを高め、ボディ全体の共鳴をよりよくします。新たなコンセプトは、高度技術と経験豊富なピアニストとの協力によって生まれ、製造工程で試験、管理されています。

ベヒシュタインのグランドピアノはこうして大きな抑揚を可能にしているのです。その音色とタッチはなお一層精巧で本格的なのです。

C.ベヒシュタイン伝説

音楽は本当にすばらしい。最高の楽器から生まれる音楽は、周囲を明るく照らします。それがたとえコンサートホールでも家の中でも。ジャンルを問わず、音楽は世界共通の言語で、境界を取り除き、時間と空間を超越します。さらに、音楽を楽しむことは理性を飛び越え、我々の心と調和して心を揺さぶります。肌で音楽を感じることは、しきたりを壊し、想像力を引き出し、意欲をかきたてるでしょう。音楽は実にすばらしい！

ベヒシュタインのピアノは言葉に言い表せない深い秘密をもった傑作品です。アップライトでもグランドピアノでも、ベヒシュタインピアノはクリアな声と色彩かな音色、詩的な雰囲気と力強さ、そしてどれにも劣らぬタッチであなたを魅了します。

Maik Ebermann

「ベヒシュタインの工場で、自分の手によって傑作を作り上げることは真の挑戦です。」



マイク・エバーマンは1997年から内部構造に関わる部門で研修を積み、現在は木材と金属を担当しています。高い技術をもった匠は、低音弦を銅で包む難しい仕事においても匹敵するものはいません。

「僕の目標は、最高の品質をこの手で達成すること。自分の作り上げたものを見て聴くことができるなんてとてもやりがいがあるんです。C.ベヒシュタインで僕らは僕らの手で傑作をつくりあげる。真の挑戦です。」



深みからの声

光り輝く金色の低音部、明るい銀色の高音部。C.ペヒシュタインの弦は、高貴で力強い音を生みだす、最高品質です。

低音弦は、高純度の銅線を使用しています。C.ペヒシュタインの厳しい設計書に従って造られた鋼芯に、手作業で巻きつけていきます。

低音弦を巻く作業は高度な手先の器用さが求められます。匠は鋼芯を持ち、高速で回転する間もぶれることのないよう注意します。同時に、銅線を巻くべき方向へ一定の力で導いていきます。張りすぎると銅線の伸縮性と弦の振動幅を損なってしまう、逆に緩いと雑音の原因となります。

手作業で巻かれた弦は、機械作業で巻かれたものと比べ決定的なアドバンテージがあります。C.ペヒシュタインの弦もまた、豊かで色鮮やかで力強い音色作りに大きく貢献しています。

大自然の恵み から

C.ベヒシュタイン・コンサート・シリーズを構成する全てが傑作

右の写真は、堅牢な響板支柱です。C.ベヒシュタインでは、このような重要な部分は、マホガニー、松、赤カンバの木からなり、それ専用に最大の安定性を兼ね備えた物だけを厳選しています。

棚板もまた厳選された頑丈な板からできています。強い力に耐えなければならないペダル部分や脚などは、広葉樹で補強された針葉樹でできています。

重い铸铁フレームや弦やアクションや響板、緊張と収縮の融合で命を吹き込まれたこれらの傑作を支えて守る側板も、同様に頑丈な木材からできています。したがって、C.ベヒシュタインのアップライトとグランドピアノは当然のことながら、輸送の際も調律を保っているのです。そして次の世代でも弾き続けることができるのです。約70000台のピアノが、世紀を超えて世界中で使用されています。

ファルコ・シュトロバハは1978年からC.ベヒシュタインで働いています。音響部品と他の部品を取り付け、ピアノを完成させる仕事です。品質こそ彼が最も重要とすること。たとえば、グランドピアノの大屋根を取り付ける時、それは音を伝播させる重要な部分です。奏者は大屋根の高さを簡単に変えることができますが、これは匠がヒンジを正確に止めているからこそ可能なのです。何度も述べますが、匠達の献身がベヒシュタインスタンダードを作り上げるのです。

「私は個々の傑作をひとつにしていけます。工場の様々な部門で丁寧に作られた部品を完璧な完成体にしていくこの仕事はとても刺激的です。」

Falko Strohbach

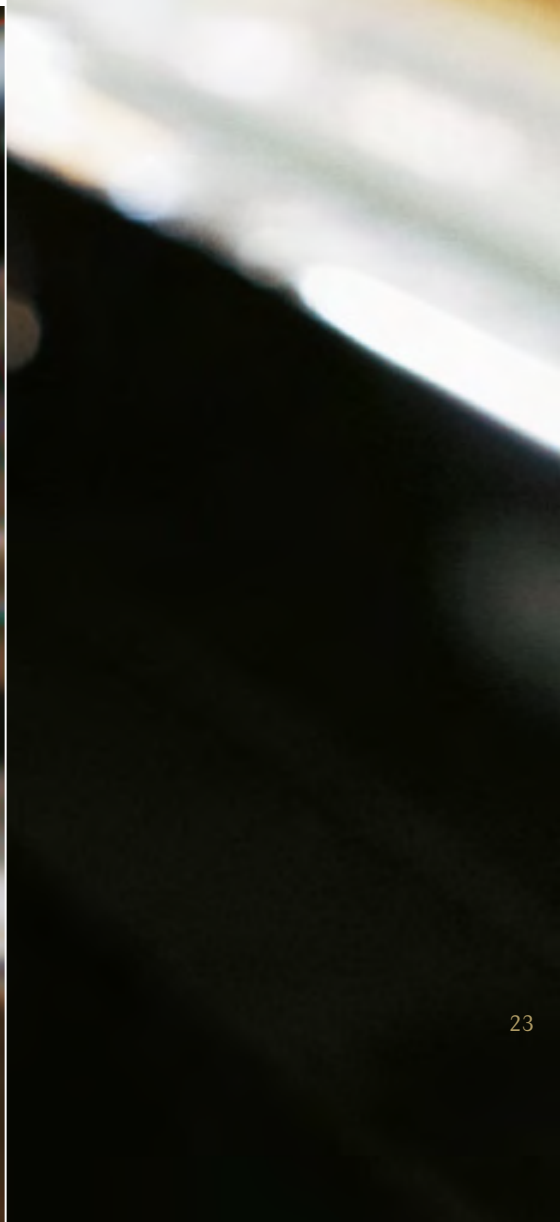
「どの傑作も、どこかで誰かを幸せにしているなんて、うれしいことだ」





Mario Leschke

「優れた楽器作りに貢献できることに
僕は誇りをもっている」



慎重で繊細で集中力がある。マリオ・レシュケ氏は1996年研修生としてC.ベヒシュタインに入りました。今彼は組み立て、調整、アクション構造、そして最新のC.ベヒシュタイン・ヴァリオ消音システムのスペシャリストです。次世代のピアノ製造者達の育成にも携わり、C.ベヒシュタイン社の高品質スタンダードを教え、アップライトピアノの品質管理も担当しています。

「変化を好む私は、色々な種類のハイクオリティーな部品を扱えることに感謝しています。この職での挑戦は、音楽と匠の技、音とタッチを結び付けることです。」



息をのむような音

C.ベヒシュタイン・コンサート・シリーズのアップライトピアノ世界における最高品質市場の先導者

比類ない上品でエレガントなタッチと、美しく、色鮮やかでバランスのとれた音。C.ベヒシュタイン・コンサート・シリーズのアップライトピアノは自由自在な演奏を可能にします。さらに、伝統ある丈夫な造りで、次の世代でも使い続けることができます。

160年以上続く優秀さ! どのベヒシュタインピアノもそれぞれ独自の魅力を持っています。あなたの内面を表現してくれるこのパートナーは、音楽の世界の新しい次元を体験させてくれるでしょう。あなたを裏切ることはありません。

C.ベヒシュタイン・コンサート・シリーズの響きは1853年以来、世界の一流ピアニストを魅了してきました。偉大な音楽家も音楽愛好家も、それぞれの音楽的なメッセージをC.ベヒシュタインに託し、表現してきました。

C.ベヒシュタイン社が所有している当時のコンサートプログラムやゲストブックには、錚々たるピアニストたちの親密な会話が書き残されています。リスト、ルトスワフスキ、ブラームス、ドビュッシー、ゴドフスキー、ペンデレツキ、レナード・バーンスタイン、セシル・テイラーが、互いに自分の所

有しているベヒシュタインのことを話していたのです。

C.ベヒシュタイン社は、このような偉大な音楽家と共に歩んできたことにとても大きな誇りをもっています。

もちろんプロのピアニストのためだけのピアノではありません。ピアノを弾くことがまたは聴くことが好きな人なら誰でもベヒシュタインの美しい音色に心を揺さぶられることでしょう。C.ベヒシュタイン・コンサート・シリーズの楽器でなら、練習も喜びに変わるでしょう、精巧なアクションの構造、繊細なタッチ、ダイナミクス、そして驚くほど色鮮やかな音色、そのすべてを含んだ自分のピアノが大好きになるでしょう。

C.ベヒシュタインのアップライトピアノは、あなたが求める独特な音色やアクションに応え、最初の一步から妙技に至るまで寄り添ってくれる親友です。

C.ベヒシュタイン・コンサート・シリーズのアップライトピアノは他の楽器に引けをとらない音楽的個性をもっています。歌うような、透き通ったその音はまさに称賛物です。

気高き音

最高品質アップライトの増音器、アグラフ

C.ベヒシュタイン・コンサート・シリーズのアップライトピアノは、弦を固定するために繊細なアグラフが使われています。この金属が弦をしっかりと固定しながらも、独特の音色を出す役目も果たします。さらに、弦を最適の位置に固定し、音の長さを決め、アクションの精度を高めているのです。ハンマーが弦の最適な場所をたたき、基音を徐々に強め、より澄んだ音を鳴らします。

C.ベヒシュタインのアップライトピアノの最も小さな部品においても美学と高品質へのこだわりは怠りません。隅から隅まで全部が傑作なのです。

ハンマーヘッドはどれも手作業で整音し、調整のあとにチェックされます。匠は針を使ってハンマーの張力とフェルトの弾力を最適にします。この作業がダイナミクスとハーモニーを強化し、色鮮やかな音を作り出します。ハンマーヘッドを整音するにも器用さと、研ぎ澄まされた耳と、フェルトを扱う精巧さが求められます。



カトリン・シュミット氏は2003年からC.ベヒシュタインで働いています。アクションや組み立てなど、様々な角度から猛訓練を積みました。今は若き匠として、世界中のカスタマーサービスを担当し、海外で研修を行い、アジアやアメリカの音楽学校のアフターケアも監督しています。彼女はまた、ベヒシュタインの技術部門のナンバーワンであるヴェーナー・アルブレヒトの元で働いています。

「私は変化と挑戦が好きです。整音において、目的は明確です。だから私は全集中力を注いでその目的を達成していくんです。どのピアノも個性的で美しい音をもっていますよ」



Katrin Schmidt

「ピアノと一体になれた瞬間、
これでお客様に気に入ってもらえる、
と確信するのです」



C.ベヒシュタイン工場における 独自のハンマーヘッド製造

C.ベヒシュタインは、最高のアップライトピアノ、グランドピアノの響きを作り出すために妥協を許さないことで知られています。この領域において、これまでこのように思い切って大胆な試みを行うヨーロッパのピアノメーカーはありませんでした。ハンマーヘッドは、サプライヤーから購入していました。しかし、C.ベヒシュタインは、集中的な研究およびテスト段階を経て、2年後に自社でハンマーヘッドを製造するようになりました：これは業界におけるセンセーションです！

「それにもかかわらず、我々は非常に伝統的な手工業を維持し、私たちのイノベーションの力も常にこの伝統の一部となっています。将来的な成功を導くため、研究開発の分野で我々のチームを拡大し、投資しています。」C.ベヒシュタイン取締役会長であるステファン・フライムートはそう語ります。ハンマーヘッドの完全な自社生産の成功は、工学、材料科学、音響分野それぞれの専門知識を有するからこそなし得ることです。

C.ベヒシュタイン独自のハンマーヘッドは、ヨーロッパのアップライトピアノ、グランドピアノ製造においてNo.1の品質基準をもっています。

ハンマーヘッドの自社製造は、ヨーロッパのピアノ業界においても唯一無二の革新

的な試みです。それはまた、非常に洗練された高品質の素材と直接の調整から成り立っています。結果は、ダイナミクス、ボリューム、ダイナミックな音色において改良されたものとなりました。

C.ベヒシュタインのハンマーヘッドは、それぞれモデルごとに固有の形をしており、重量も最適化され、C.ベヒシュタインのロゴがエンボス加工されています。青く色づけされたアンダーフェルトは、C.ベヒシュタインの証です。

ハンマーウッドは、それぞれの理想の響きに最適化させるようになっています。C.ベヒシュタインはクルミもしくはマホガニーのハンマーウッド、W.ホフマンの楽器は、マホガニーやメープルのハンマーウッドという風にです。

注釈：サプライヤーからでなくザイフェナーズドルフの自社工場でハンマーヘッドを製造することで、C.ベヒシュタインは非常に高い品質を保つことができます。各音域のサウンドを確認したのち、それぞれのハンマーフェルトは、正確に整音されます。それにより、理想的なバランスでの緊張感と弾力性が形作られます。その結果は、多面的で柔軟な色調のダイナミクスと音域の調和です。整音は芸術です：職人の技、音階の判断および材料の慎重な取り扱い、この作品を決定づけます。



継続的なサポート

C.ベヒシュタイン 技術アカデミー

ドイツのエリートピアノメーカー、C.ベヒシュタインは、カスタマーサービスの向上に常に励んできました。ここ数十年間、ドイツにおいて、熟練した技術者を育成するために費やした投資は、いま実を結びつつあります。C.ベヒシュタイン技術アカデミーを通じて、トレーナー達は専門技術を世界のリテラーや技術者に伝えるようになりました。

従業員向けの研修は必要不可欠であるため、C.ベヒシュタイン技術アカデミーでは、参加者のサービス特性に合ったコースを提供し、世界中のC.ベヒシュタインパートナーがベヒシュタインピアノを最適な状態に保てるようにしています。研修を終えた者に対しては、カスタマーサービス師やコンサート調律師といった公式認定書が発行されます。

C.ベヒシュタインはこうして世界均一の品質基準を保障し、ドイツのピアノメーカーとしての地位を維持し、“数十年にわたり、高い要求を満たし続けていく”という野心に忠実であり続けます。





Werner Albrecht

「世界で最も美しい仕事。C.ベヒシュタイン・コンサートグランドの音色に最後のひと手間を施していくこと。夢の仕事だ!」

ピアノ製造マイスター ヴェーナー・アルブレヒト氏はベヒシュタインの音の世界に対し情熱を持っています。品質に妥協は許さない厳しい完璧主義者も、ユーモアを忘れることなく、時間が許せば一流ピアニストのコンサート技師として身軽に世界中を飛び回ります。アルブレヒト氏はベヒシュタインの技術部門における幹部役員で、C.ベヒシュタイン技術アカデミーの内部サービスの監督でもあります。

ある意味、ナオキ山内ボール氏はC.ベヒシュタインの現代史を体現する人物です。彼は1974年から2014年までベヒシュタインに在籍し、新製品開発に尽力してきました。コンサートチューナーとして、音楽家達が優れたベヒシュタインピアノを見つけ、感激していく様子を彼は見てきました。C.ベヒシュタイン社は、山内氏の忠誠、戦う姿勢、そして並はずれたスタミナに感謝の意を表します。

グランド ピアノ

C.ベヒシュタイン・コンサート・シリーズのグランドピアノは伝説の音色を備えた傑作です。その確かな品質は、長期にわたる労力から生まれるのです。優れた音と技術への信頼は、音楽学校、コンサートホール、録音スタジオ等あらゆる場面で確かなものとなっていました。世界中の音楽家が無限の色彩と完璧なバランス、そして力強く透き通った音に感銘をうけています。

見事なグランドピアノは、コンサートチューナーによって更なる高みへと向かいます。世界トップクラスの技師は、あらゆる要求に応え、信頼を勝ち得ています。コンサートの成功のため、持てる力を尽くすのです。

ベヒシュタインはコンサート技師達を心から誇りに思います。彼らは、世界中のC.ベヒシュタインピアノの品質の守護者なのですから。



最高傑作

D 282 Concert: 並はずれたダイナミクス、色とりどりの音、比類のない気高さ、上品さ、そして、透明感。美しいアクションは、驚くほど素早く、正確にコントロールができます。

この夢のピアノは、世界中の偉大なピアニストとの対話によって誕生しました。そして、限界を知りません。どうぞ確かめてください。このダイナミクス、音色、そして力強さと音質、バランス、詩的感覚、そして、個性を。

👑 *D 282*



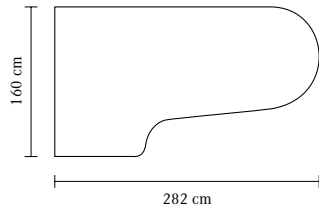
👑 D 282



仕上げ 黒艶出 (その他の仕上げは、www.bechstein.com をご覧ください)

寸法 282 × 160 cm

重さ 521 kg



Vario mute
optional

プロの極み。力強くも透明な低音、表現豊かな中音域、歌うような高音域。
まさに今日の理想にぴったりと当てはまる音色です。
歌うベヒシュタインの音、力強いダイナミクス。完璧なコントロールが可能なアクション。



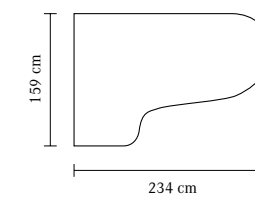


C 234

仕上げ 黒艶出 (その他の仕上げは、www.bechstein.com をご覧ください)

寸法 234 × 159 cm

重さ 437 kg



Vario mute
optional

感情を引き立たせる、力強いセミコンサートグランドピアノ。
思わず引き込まれるダイナミクスと、繊細で色鮮やかで透きとおった声。
最高の素材を使った鼠鉄の鉄骨、カボダストロバー、デュプレックスシステムを採用しています。



新しいスタンダードを生んだ、
傑作品

艶やかなボディから魅力的で美しい音を奏で
る一台。息をのむほど精巧な化粧板。その温
かみのある高貴な色のニュアンスとその完璧
な仕上がりは、周りの視線を独り占めする宝
石のような存在です。精巧さと職人技、威厳
と優雅さがひとつになった音楽界のダイヤモ
ンドです。

👑 *B 212*



B 212

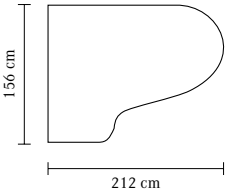
45



仕上げ 黒艶出 (その他の仕上げは、www.bechstein.com をご覧ください)

寸法 212 × 156 cm

重さ 399 kg



Vario mute
optional

繊細なタッチ、豊かなボリュームと理想的な響きの持続。

深い音と極上のニュアンスをひとつにした最高品質のピアノは、あなたを色鮮やかなベヒシュタインの世界へと導きます。室内楽や小さなホールでのソロ演奏にも最適です。

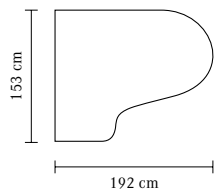




仕上げ 象嵌：左、白艶出：下 (その他の仕上げは、www.bechstein.com をご覧ください)

寸法 192 × 153 cm

重さ 350 kg



Vario mute
optional

微妙なニュアンスも表現可能な優れたアクションと、そこからはじける色鮮やかな音。
力強い低音域と歌うような高音域が互いを際立たせる、力強いグランドピアノです。



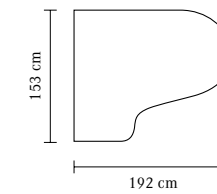
👑 A 192



仕上げ クラシックスタイル・マホガニー艶出 (その他の仕上げは、www.bechstein.com をご覧ください)

寸法 192 × 153 cm

重さ 350 kg



Vario mute
optional

クラシックデザインのレプリカは、目でも大いに楽しむことができます。

すべての要素が調和し融合し、一体感を作ります。

自然が生んだ宝石は決して仰々しくなく、プリリアントなマホガニー外装は威厳ある音質を際立たせます。



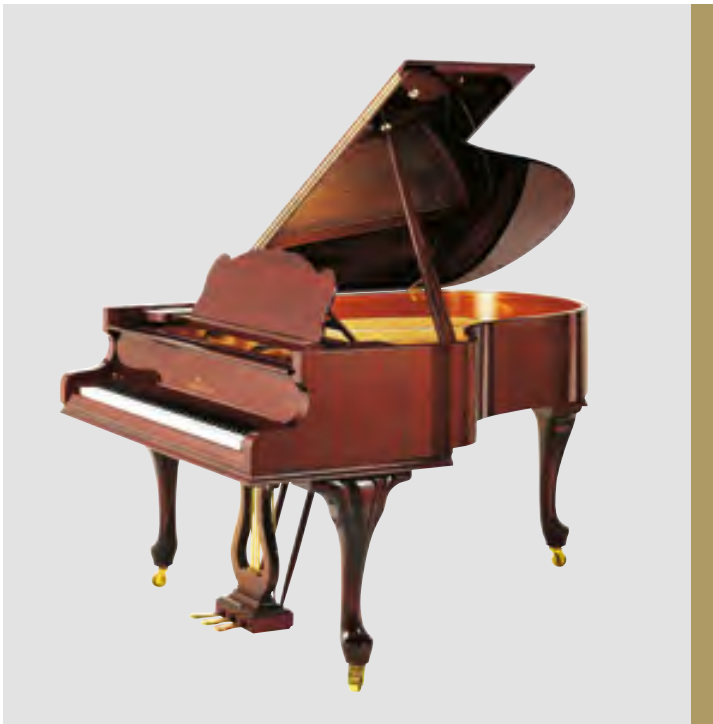
👑 L 167

贅沢が現実のものに

優雅な音色との一人遊び。艶消し仕様のローズウッドに落ち着いたシルバー内装は、まさに伝統と現代の調和。個性的な音色を放つこの宝石は、本物の贅沢味わいたい人のための一台です。

C.ベヒシュタインはお客様のインテリアに合うよう、特注外装も承っております。

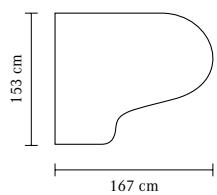




仕上げ フレームマホガニー(左上)、チップペンデール(左下)

寸法 167 × 153 cm

重さ 317 kg



Vario mute
optional

コンパクトでありながらも匠の技を詰め込んだピアノは数々の専門家から「最高のベビーグランド」と称されました。デュプレックス、精巧で完璧な操作が可能なアクションを含め、コンサートグランドとしての全ての特性を兼ね備えています。力強い音も聴きごたえ十分です。こちらも、さまざまな外装仕様が可能です。



C.ベヒシュタイン・コンサートのアップライトピアノは、世界中で常に優秀な代表作でした。その美学と細部にわたるこだわりは、最高品質の楽器製造において昔から重要な役割を果たしてきました。それもすべては材料の選定から丁寧な製造工程に至るまで骨身を惜しまない努力があったからこそです。

C.ベヒシュタイン・コンサートのアップライトピアノは全て、通常最高のグランドピアノにしか使われない部品で作られた傑作です。その材料や製造への細かなこだわりは本当に個性的でユニークです。

さてここで、C.ベヒシュタイン・コンサートのアップライトピアノに見る特徴の一部をご紹介します。それは「振動膜響板システム」というもので、響板、共鳴板、長い緊張に耐えるリブのくぼみ、歪曲した铸铁板、丈夫な支柱、音響エネルギーシステム、計算されたアセンブリからなります。

写真左：Concert8モデルの铸铁板の拡大写真。しばしば「世界最高のアップライトピアノ」と呼ばれています。この「フラッグシップモデル」のユニークな構造的特徴は、特別なカタログに詳しく記載されています。どうぞお問い合わせください。

アップライト ピアノ

コンサートグランドを被ったアップライトピアノ

グランドピアノはグランドピアノです。このアップライトも“グランドピアノ”です。あなたはこれ以上の妥協をすべきではありません。独特の響体をあなたの演奏で覚醒させてください。独特のタッチ感覚を体験してください。この“コンサート8”で、グランドの響きがあなたのリビングルームで聴けるでしょう。

グランド？

アップライト？

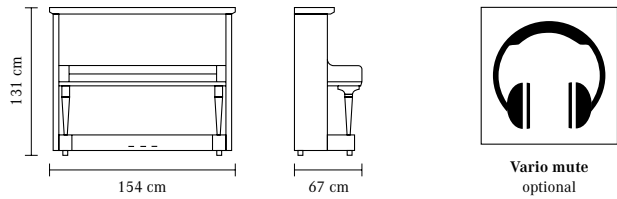
いいえ“コンサート8”です！

👑 Concert 8





仕上げ	黒艶出 (その他の仕上げは、 www.bechstein.com をご覧ください)
寸法	131 × 154 × 67 cm
重さ	255 kg



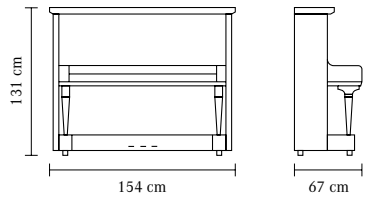
変化に富んだダイナミクス、無限のニュアンスが可能な色彩感、計算された音の拡散、歌うように大きく響きわたる声、コントロール自在のアクション、これらグランドが持つ特性の多くを継承したこのC.ベヒシュタイン・コンサートのアップライトピアノは、ほとんどグランドピアノと言ってよいでしょう、



仕上げ パール・ウォルナット艶出 (その他の仕上げは、www.bechstein.com をご覧ください)

寸法 131 × 154 × 67 cm

重さ 255 kg



Vario mute
optional

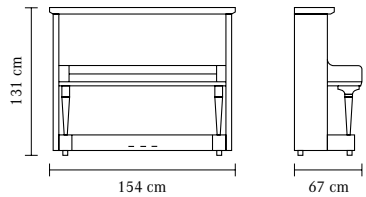
タッチと、実際の響きがまさに一致する楽器です。このコンサート8は、あなたの音楽が意図するところを正確に汲み取り、表現してくれます。全体的に調和のとれた響きを楽しんでください。各音域の音色、空間を満たし色彩豊かな響き、コントロール性やそれに対する反応も優れています。



仕上げ ヴァヴォナ・パール艶出 (その他の仕上げは、www.bechstein.com をご覧ください)

寸法 131 × 154 × 67 cm

重さ 255 kg



Vario mute
optional

輝かしく、愛嬌もあり、風雅な声は、まるで宝石のようです。
セコイアの木目が品位とぬくもりを与え、さらに上前板のオーバル模様が知的でエレガントな
雰囲気を醸し出します。あなたの情熱を見事に表現してくれる一台です。

👑 Residence

レジデンスピアノモデルは、様々な音響上のシステムや多くの種類の外装で、プロの要求に最も適う特性をもったものを提供しています。なぜなら、それらの絶対的な能力は、個人宅だけでなく、学校でも発揮されているからです。レジデンス：この上質なモデルはピアノ愛好家からも長らく高い評価を得ています。



Elegance 124

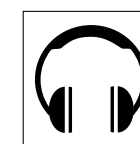
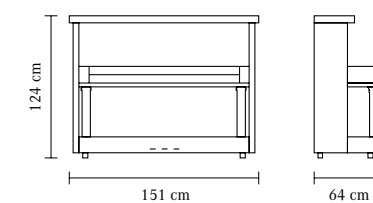
RESIDENCE



仕上げ 黒艶出 (その他の仕上げは、www.bechstein.com をご覧ください)

寸法 124 × 151 × 64 cm

重さ 260 kg



Vario mute
optional

すらりと流れるラインの内側には、細かく複雑な構造がきちんと集約されており、ベヒシュタインが誇る堅実と気品の調和を見事に表現しています。
伝統的なモデル11という音響構造を取り入れた、輝きのアップライトピアノです。

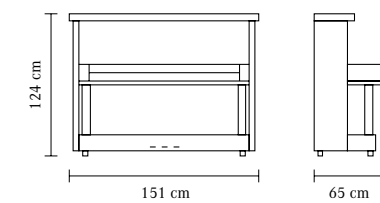
Classic 124
RESIDENCE



仕上げ 黒艶出 (その他の仕上げは、www.bechstein.com をご覧ください)

寸法 124 × 151 × 65 cm

重さ 261 kg



Vario mute
optional

控え目で、いつの時代にも見劣りしないトップクラスのアップライトピアノです。
優秀な音とタッチは奏者に幸せを与え、バランスのとれた音、深く朗々とした低音が、聴く耳を
虜にするでしょう。総合力において非常に優秀な一台です。

Contur 118

RESIDENCE



72

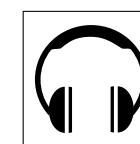
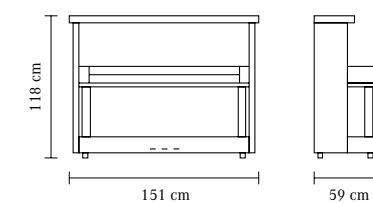


73

仕上げ 白艶出 (その他の仕上げは、www.bechstein.com をご覧ください)

寸法 118 × 151 × 59 cm

重さ 246 kg



Vario mute
optional

スラリとした上品なシルエットのつや出し仕上げ。丁度中間の高さにあたるこのモデルはどの部屋にもマッチするでしょう。黄金比率の設計には非の打ちどころがありません。多彩な歌声は人の心をつかみ、そして豊かな表現は、たちまち巨大なスペクタクルとなって広がってゆくでしょう。優れた音楽を演奏するにふさわしいピアノです。

Contur 118

74

Contur 118

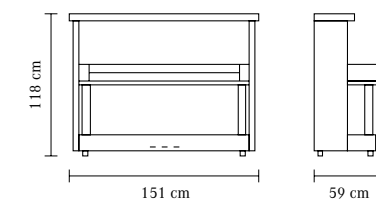
RESIDENCE



仕上げ マホガニー（象嵌）（その他の仕上げは、www.bechstein.com をご覧ください）

寸法 118 × 151 × 59 cm

重さ 246 kg



Vario mute
optional

優美な象眼模様。ウォルナットの木目が浮き出た上下パネルが
楓と紫檀の細いラインで縁どられています。

特注仕上げが楽曲のもつ優美さをいっそう引き立てます。

そのほかの特注仕上げも承ります。

👑 *Classic 118*

RESIDENCE



76

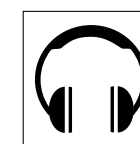
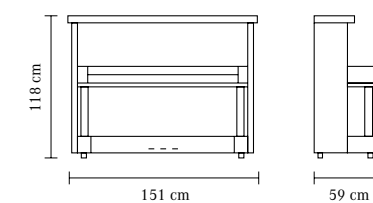


77

仕上げ 白艶出 (その他の仕上げは、www.bechstein.com をご覧ください)

寸法 118 × 151 × 59 cm

重さ 244 kg



Vario mute
optional

永遠のクラシックデザインに豊かな音色と繊細なタッチ、快適な高さ。
調和のとれた設計技術が、力強く旋律的な音色を保証します。
いくつかの世界のブランド比較テストで勝者となっています。

Classic 118

👑 *Millenium 116 K*

RESIDENCE

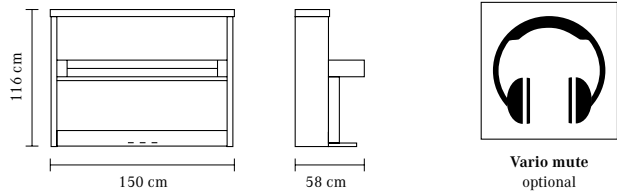


78



79

仕上げ	黒艶出, クローム金属アクセサリ
寸法	116 × 150 × 58 cm
重さ	233 kg



モダンでシンプルかつ魅力的。C.ベヒシュタイン・コンサートトップクラスピアノの特質を集約したサウンドボディー。品質と優秀なデザインは世界中で認められています。最高の美と素材、製造技術と塗装、実用性が評価され、世界の3つのデザイン賞受賞。

Millenium 116 K

Millenium 116 K

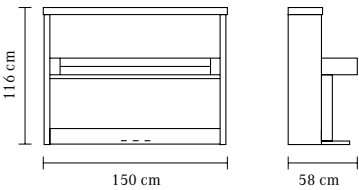
RESIDENCE



仕上げ 白艶出

寸法 116 × 150 × 58 cm

重さ 233 kg



Vario mute
optional



世界中のピアノ好きにとって最愛のピアノ。トップセラー中のトップセラー。Good Design 賞、IF Produkt Design賞、Gold Design賞受賞。美と創造性とオリジナリティーと実用性が評価された「folk-mare・ronmel」デザインです。

ヒストリー



カール・ベヒシュタインは
偉大な音楽家達に、彼らの求めた楽器を作った。
力強い音と繊細なタッチ。

C. Bechstein: 伝説は生き続ける

ベヒシュタイン伝説の誕生には少し変わった由来があります。
創立から約160年後、ベヒシュタイン社はいまなお活気に満ちています。
チームの献身がこのブランドの生命力となっています。

ドイツが政治的混乱のさなかにあつて、急速に芸術・科学・哲学・文学の中心として急速に発展していた1853年ベルリン。27歳のチューリンゲン州ゴータ出身の楽器職人、フリードリヒ・ヴィルヘルム・カール・ベヒシュタインは自分の工場を作りました。カールは、ベルリン、ロンドン、パリにおいて、ピロー、パペ、クレーゲルシュタインといった一流メーカーで修業を行いました。ベヒシュタインがバリの楽器製作職人セバスチャン・エラールと出会っていたかは定かではありませんが、ベヒシュタインの工場が19世紀末までにはフランスの一流ピアノメーカーを超えてヨーロッパ随一のメーカーになったことは確かです。カール・ベヒシュタインはつつましく、ベルリンの文化生活になじんでいきました。そんな国際人はフランス語を話し、プロイセンの宮廷ピアノ教師テオドル・クラクを

はじめとする数多くの芸術家たちとつながりを持っていました。ベヒシュタインの革新の一つは、こうした文化的なつながりをマーケティングツールとして利用したことです。ベヒシュタインの親友に、リストの弟子ハンス・フォン・ビューローがいます。1855年、ビューローはこの偉大な作曲家にあてて、「ベルリンにはまともなピアノがない」と書いています。このことが、ベヒシュタインをリストの力強い演奏にも耐えうるモダングランドピアノの製作へと駆り立てました。ベヒシュタインの最初のコンサートピアノは剛健さと最新のスタイルを備え、1856年に完成しました。ビューローはコンサートでこれを弾き、大成功を収めました。そして1857年にターニングポイントを迎えます。ビューローは、ピアノにとってもピ

ニストにとっても厳しいといわれるリストのロ短調ソナタを初演しました。交響曲的要素をもったこの非常に叙情的な作品は、時代感覚を表し、ピアニストにも楽器にも最大限の要求を示しました。しかし、ビューローとベヒシュタインのコンサートグランドはその要求に見事応え、成功はふたりの絆を固めました。ビューローは音楽界への影響力を強め、数年後、ベルリンフィルの指揮者に任命されました。カール・ベヒシュタインは、当時ピアニストが何を望んでいたかを悟り、新たな音楽的理想に応えるピアノを作ることができると信じていました。ビューローは「色彩感に富んだピアノ、ベヒシュタイン。この最高の楽器が新たな美学を具現化している」と称賛しました。





ベヒシュタインを囲んで：
コジマ、リヒャルト・ワーグナー、
フランツ・リスト、ハンス・フォ
ン・ビューロー

有名な音楽家たちがブランドの名声に貢
献し、「色彩感に富むピアノ」「王室の認め
るピアノメーカー」と他のブランドに勝るベ
ヒシュタインを讃えました。

19世紀の最も偉大なピアニスト、フラン
ツ・リストは1860年に最初のベヒシュタイ
ンを手に入れます。ベヒシュタイン社の販
売元帳には、「出荷番号247番：カペルマ
イスター リスト、ワイマール」と記されて
います。

カール・ベヒシュタインは、最先端の技術
革新にも挑みました。たとえば1853年、彼
は最初のアップライトを製作しました。当
時ベルリンでは平行弦が主流だったにも
関わらず、交差弦を用いました。しかし、
彼の決断はたちまち認められました。

1862年のロンドン万博において、地元の
有力なライバル達をしのいで、ベヒシュタ
インは数々のメダルを獲得しました。審査
員は「ベヒシュタインの注目すべき点は、
新鮮でのびやかな音色、気持ち良い弾き
心地と各音域のバランスの良さだ。さら
に、どんな力強い演奏にも耐えることが
できる」と評価しました。



ドイツに送られた公式文書にも、以下のよう
に書かれています。
「プロイセンの王室に任命され、アメリカ、
アジア、イギリス、ロシアへも渡ったベヒ
シュタインは、ロンドンの王室に2台の素晴
らしいグランドピアノを送った」

同時にカール・ベヒシュタインは、偉大
な芸術家達との交友を求め続けまし
た。1864年、リヒャルト・ワーグナーの誕
生日にはグランドピアノを贈りました。毎
年お祝いを贈られたフランツ・リストもま
た、亡くなる数年前にベヒシュタイン社宛
てに「あなたの楽器に何か言わせてもら
うとすればただただ称賛するだけだ。28年
間ベヒシュタインを引き続けているが、そ
の優秀さが衰えることは一度だってなか
った。もはやこの楽器に称賛の言葉は必
要ない。言葉にするとかえって回りくどく
なるだけなのだから」

ベヒシュタインは、ドイツ皇帝だけでなく、数多くの王室や宮廷に納
められました。

左上：ヴィクトリア女王に納められたグランドピアノ。ワトーの絵画で装飾したルイ15世
様式で黄金に輝く。左下：ロンドンにあったベヒシュタイン・ホール。現在はウィグモア
ホールと呼ばれる。右下：ベヒシュタインがベルリンの国会議事堂に納品される様子。

ベヒシュタインが評判を得るにつれ、会社
も上向いていきました。1860年代初め、
ベルリン ヨハネス通り4番地にオープン
した生産工場は、1867年隣接区を買い
取り拡張しました。英露への輸出ブーム
や1870年の工場拡大によって、1年間で
500台以上のピアノを製造できるまでにな
りました。1867年、カール・ベヒシュタイ
ンは672台で100万マルクを超える売上を
出し、個人収入では80,000マルク稼いで
いました。しかし、企業家としての成功に
もかかわらず、彼は気前よく、非常に謙虚
で、人間味にあふれ、いつも人々と友好的
な関係を築こうとしていました。第二生産
拠点は1880年、グリューナー通りにオー
プンしました。その年、カール・ベヒシュ
タインは、ベルリンの郊外住宅地、エルク
ナーのデメリッツ湖岸に別荘を持っていま
した。もてなし好きな彼は、多くの芸術家達
をその田舎に招待しました。オイゲン・ダ

ルペールもその一人で、1883年、ベヒシュ
タインの別荘に滞在中にピアノコンチェル
トを作曲しました。

1892年ベルリンにベヒシュタインホールが
オープンし、ヘルマン・ヴォルフが芸術監
督となりました。このホールは、ベルリン
フィルが使うコンサートホールの改築も担
当したフランツ・シェヒテンがデザインしま
した。オープニングコンサートには、アルト
ン・ルービンシュタイン、ヨーゼフ・ヨアヒ
ムの弦楽四重奏とヨハネス・ブラームス、
そしてもちろんハンス・フォン・ビューロー
が演奏しました。

3つめの生産拠点は、ベルリン市のクロイ
ツベルクライヒェンベルガー通りに、1900
年に建てられました。

ベヒシュタインピアノは、裕福な家庭における礎でもあり、リスト、ブラームス、ドビュッシー、ラベル、ラフマニノフ、バルトーク、ブゾーニといった偉大な芸術家たちは、ベヒシュタインピアノという傑作に自分の礎を築きました。

彼の変った人生はプロイセンの美德とキリスト教文明に基づいています。彼は相当な富を蓄え、従業員が健康でいられるよう父親的な態度で接しました。彼が死んだとき、ベルリン王位磁器製陶所(KPM)は特製コーヒーカップを提供しました。月桂樹を飾った彼の肖像と「カール・ベヒシュタイン1826-1900」と書かれていました。

20世紀に差し掛かる前、ベヒシュタイン社は世界中に輸出を展開するファミリー企業となっており、エドウィン(1859生)、カール(1860年生)、ヨハネス(1863年生)の3人の息子達が経営を担っていました。ベヒシュタイン一家は800人近い従業員を指揮し、1年に3,500台を製造していました。1903年、創業50周年には年間4,500台を作りました。

ロンドンのベヒシュタインホールは1901年ウィグモア通りにオープンしました。毎年300回近くコンサートが行われているとこ

ろです。当時は大英帝国が輸出先のほとんどを占め、ヴィクトリア女王は自ら、細密画を描いた金のルイ15世モデルのピアノをオーダーしました。

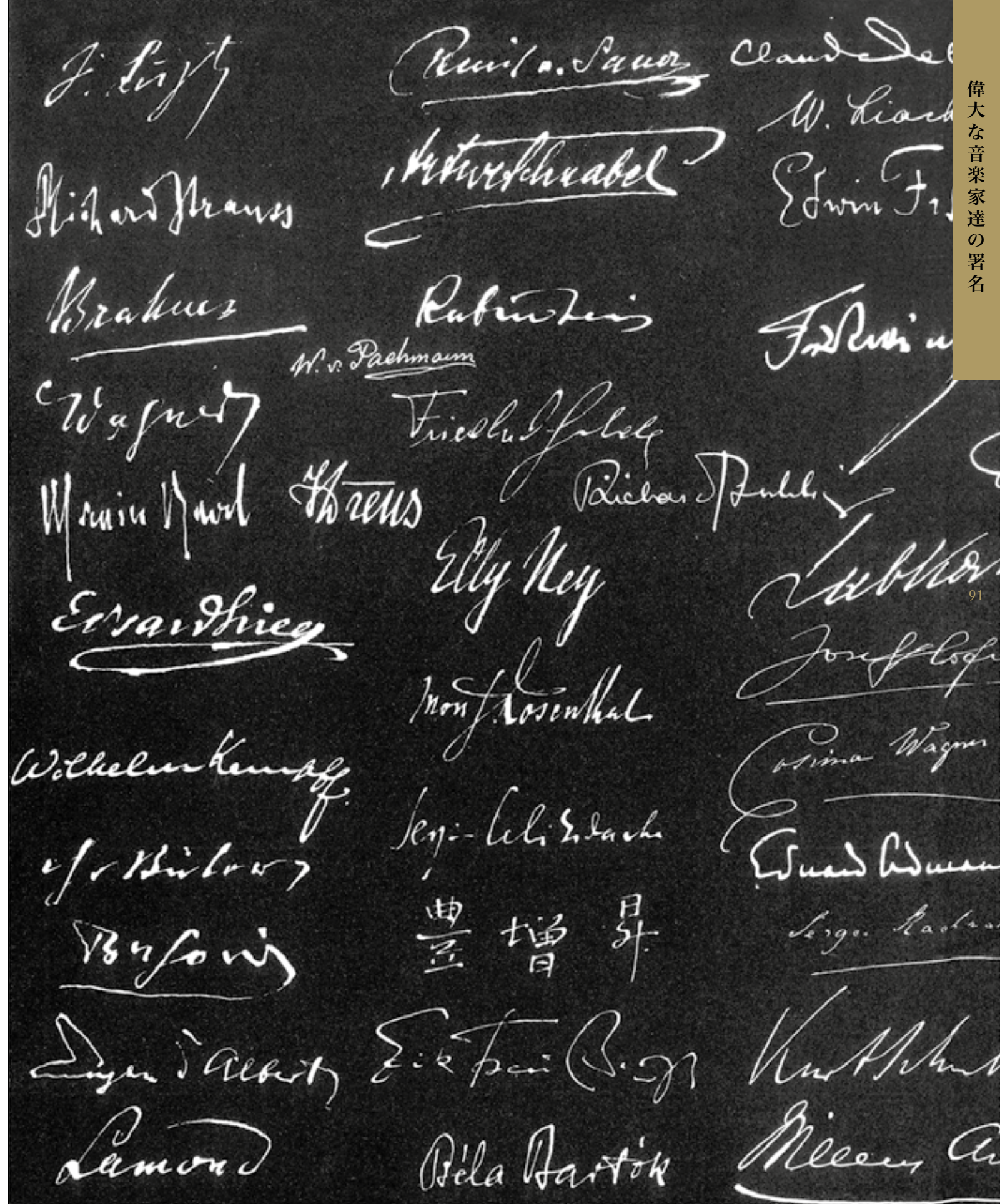
第一次世界大戦も会社に大きな影響を及ぼすことになります。ロンドンのベヒシュタインホールは接収、ウィグモアホールと改名されました。1903年サントノーレ通りあったパリの子会社も失いました。さらにドイツの敗戦と1919年からのインフレにより、従業員と生産の厳しい削減を強いられました。戦前1,100人の従業員で毎年5,000台のピアノを作ってましたが、当時はピアノは贅沢品で誰もが持つ余裕などありませんでした。1923年インフレが空前のピークに達した時、ベヒシュタインは株式会社になりました。その数年前、エドウィン・ベヒシュタン兄弟は株主となりました。

新たな金融構造にもかかわらず輸出事業は高い関税のもとで停滞しました。しかし、ベヒシュタインは、1928年アメリカとの

取引に成功しました。有名デパートのワナメーカーはアメリカにおけるベヒシュタインの独占代理店になり、記者会見付きでイベントを実施したり、ニューヨークの富裕層向けにレセプションを開いたりしていました。

1920年代、ベヒシュタインのグランドピアノはアメリカの豪華客船の中でも見られました。1929年には猫脚のグランドピアノが大西洋豪華客船や、ラインのグラフツェッペリン飛行船にまで乗りました。同年、ワトーの描いた絵画装飾つきの金のピアノがバルセロナ万博に登場しました。

1920年代は経済問題から大変厳しい時代でしたが、当時の偉大な作曲家、ブゾーニやシュナーベル、バックハウス、コルトー、エミル・フォン・ザワー達はベヒシュタインを評価しています。ベヒシュタインはヴェルテ・ミニオン・システムというペーパーロール技術を駆使した「自動演奏ピアノ」やネオベヒシュタイン、シーメンス・ナルン





ベヒシュタインは1883年に1,200台のピアノを製造しました。20世紀に入る頃には、1,100人の従業員の手で一年間に5,000台を製造しました。

スト・グランドピアノの製造にも力を注ぎ続けました。今日のVario消音システムの前身ネオベヒシュタインは1931年、技術センセーションを起こしましたが、当時はまだその需要は広く認知されませんでした。

1932年は大恐慌や、ベルリンで最も由緒ある大通りクーアフルステンダムに構えたショールームを巡ってのベヒシュタイン一族の仲違いもあり憂鬱な年でした。さらに、一家の一人がナチスの上層と親しい仲にあり、会社は1933年ヒトラー首相就任の恩恵を受けているのではと噂が広まりましたが、売り上げ台帳を見てもその申し立てを立証するものではありません。むしろ、ナチスによるユダヤ人への迫害、土地の略奪、殺戮は会社の減退を招きました。なぜなら裕福なユダヤ人家庭はベヒシュタインの重要な顧客層だったからです。



イエフ、ファジル・サイ、グラウ・シューマッハ、アンソニー・ジョセフ・パラトレといった面々による演奏会が行われました。3年後、ピアニストで指揮者のウラディーミル・アシュケナージの支援のもと初のベヒシュタイン国際ピアノコンクールを開催しました。

同じころ、ダイナミクスと伝説的な音色を持つコンサートグランドD282が成功を取めています。例えば、ラロックダンテロンなど国際ピアノフェスティバルにおいて多くのピアニストに選ばれています。

現在、ベヒシュタイングループでは様々なモデルを製造しており、初心者から中級者向けのツインマーマン、ホフマン、最高級のベヒシュタイン・コンサートまで、幅広く市場に適応しています。

2002年、韓国の楽器メーカーであるサミックとの関係を深め、アジアやアメリカで市場でのシェアを強めました。ベヒシュタイングループの中でも初心者向けのピアノはアジアで優勢となりました。サミックは歴史あるドイツブランドから恩恵を受けました。

しかし、カール・シュルツェと、会社のマーケティング・マネージャーであるキュッパは2005年までにサミックが保有するベヒシュタインの株の半分を買い戻しました。そして現在では、サミックはベヒシュタインの株を保有していません。

2003年、広くメディアにも取り上げられたベヒシュタイン社創業150周年記念では、ベルリンフィルホール、デュッセルドルフ市のトーンハレ、フランクフルトのアルテオパー(旧オペラ座)などで、デニス・プロシャ

イトまでを作っています。ここでベヒシュタインは、伝統あるピアノにデジタルピアノの機能を搭載すべく、Vario消音システムを開発しました。2000年、ベヒシュタイン社の売上は4,000万マルクに上りました。

世紀の変わり目に生まれたプロ・ベヒシュタインモデルはアップライトピアノの新たなスタンダードとなりました。それはまさに150年前カール・ベヒシュタインが創業時に求めたものでした。新モデルはクラシックな黄金比設計のなかにエレガントさを兼ね備え、その透き通った独特なデザインはジャン・ヌーヴェルやノーマン・フォスター等の偉大な建築家を思わせます。この新たなアップライトピアノは、グッドデザイン賞やiFデザイン賞を獲得し、それまでのアップライトピアノに勝るデザインとなりました。

び過酷な時代に突入しました。1990年、世界のピアノ生産は40%落ち込みましたが、カール・シュルツェは1977年以後ホフマンブランドを所有する南ドイツのオイテルペ社を買い取りました。1992年には、ツインマーマンブランドとそのザイフェナースドルフの工場を買収しました。ツインマーマンはドイツの最も大きなピアノメーカーの一つでした。

ベヒシュタインは1996年に株式会社になり、工場整備のために1,500万ユーロを費やしました。1999年に会社の経営部門はベルリンに移り、そこにショールームとコンサートホール、そしてオフィスを兼ね備えた“ベヒシュタイン・センター”が開設されることになります。数年後、デュッセルドルフのシュティルベルクにも新たなベヒシュタイン・センターがオープンし、主催コンサートでは大勢の聴衆を魅了しています。

ザイフェナースドルフの工場では、どんなピアニストや演奏者をも満足させるべくフルコンサートグランドから家庭用アップラ

1971年、レナード・バーンスタインはウィーンフィルとドイツ演奏旅行をし、ラヴェルのピアノ協奏曲をベヒシュタインで演奏しました。ボレットも、当時ベヒシュタインの名手であった一人です。1978年、創業125周年記念に際し、クリスティアン・ツァハリアス、シュエラ・チェルカスキー、コンタルスキー兄弟がピアノデュオを演奏しました。

1986年、カール・シュルツェが38歳でこの会社を引き継いだとき、それまでボールドウィン社が握っていた株を買い戻すことに成功しました。ピアノ製造マイスターとして、シュルツェは、かつて世界が絶賛したベヒシュタインの名声の再建をめざしたのです。カール・ベヒシュタインが創業した1853年よりずっと悲惨な経営状態のなかで、ベヒシュタインは新たなスタートを切りました。

シュルツェの再建計画はすぐに実を結びました。1987年、売上は前年より400万マルク上昇の1400万マルクを記録しました。しかし、1989年ベルリンの壁崩壊で、再

第二次世界大戦の空襲により、ベヒシュタインのいくつかの工場も被害を受けました。戦後、占領軍は会社を直接支配しました。彼らには、ドイツ市場をアメリカ製品に拓かせるという明確な目標があったからでした。ベヒシュタインは終戦の6年後の1951年、アメリカの統治が終わると経営を再開しましたが、生産高はあまりにも低いものでした。

1953年、西ベルリンのチタニア・パラストで、バックハウスなどの有名アーティストのコンサートを開催して創立100周年を祝いました。指揮者のセルジウ・チェリビダッケはベヒシュタインに夢中になり、翌年自らベヒシュタインピアノを購入しました。1957年、ヤマハは自社ホールにベヒシュタインのグランドピアノを設置しています。

アメリカのピアノメーカー ボールドウィン は、1963年ベヒシュタインの株を買いはじめ、1970年代半ばには主要株主となりました。新たな工場は、カールスルーエとエッセルブロンに建てられました。

「ベヒシュタインは手と耳を満たしてくれます」

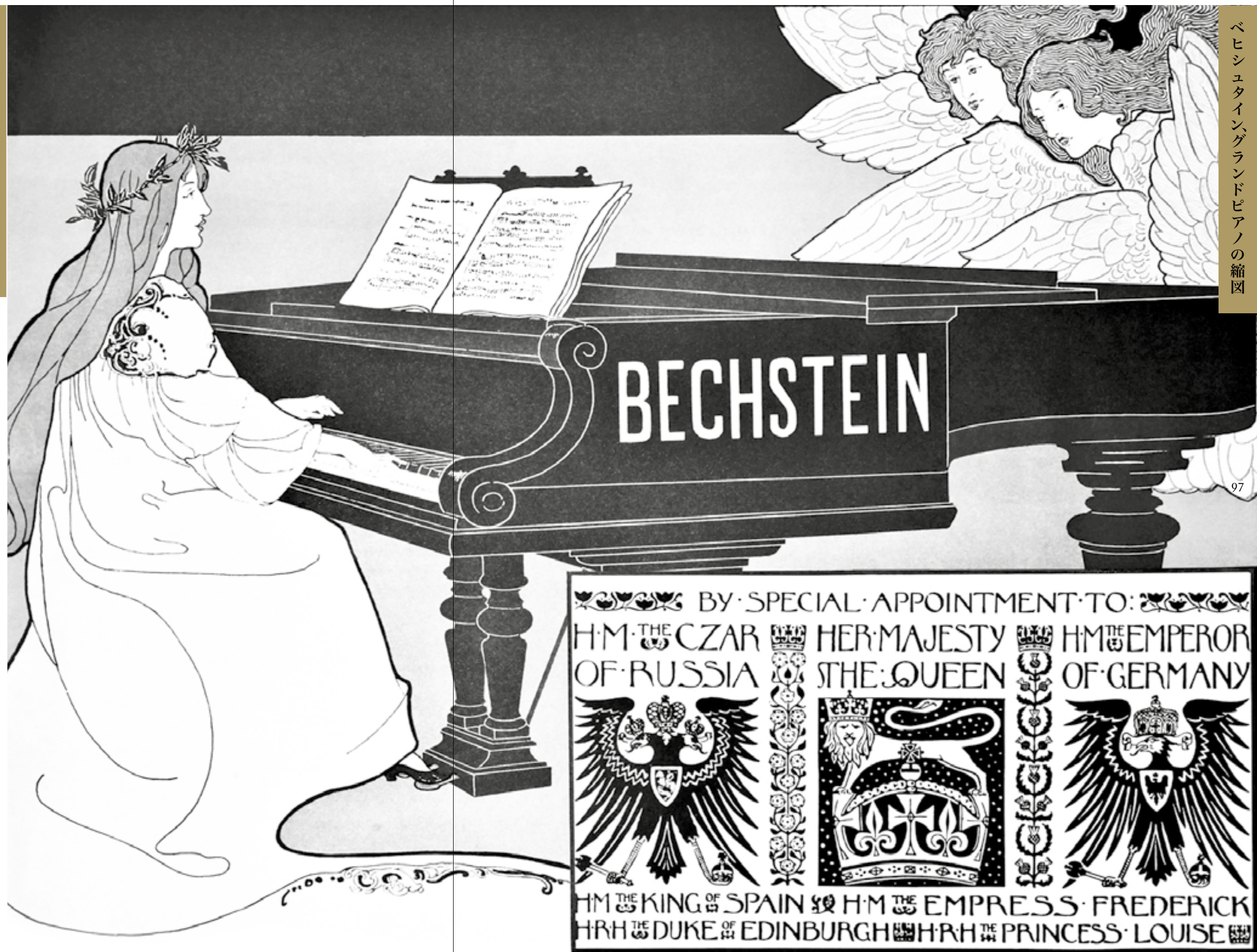
「これまで私が弾いたベヒシュタインピアノはみな最高の特質をもっている。溢れる音、漂う気品、歌うようにいて力強い音色、いかなるタッチや技術へも答える順応性、心から信頼できる楽器です」

アルトゥル・シュナーベル

2004年、ベヒシュタインはボヘミア社と手を組み、その3年後にはチェコの会社を吸収しました。工場は整備・拡充され、「ベヒシュタイン・ヨーロッパ」の名前で子会社となりました。2008年末までには新たなシリーズであるW.ホフマンを当地で完全生産するようになり、アジア製を凌駕する完全ヨーロッパ製のピアノを作り普及させるという明確な信念を確立していきました。

ベヒシュタイン・ワールドへの入門シリーズとも言えるW.ホフマンは、ベヒシュタインの専門技術を駆使してザイフェナースドルフのR&Dにて開発され、最高の音作りが盛り込まれています。

リーズナブルなヴィジョン・シリーズから、プロフェッショナル・シリーズまで、ベヒシュタインの世界へと継ぎ目なく誘ってくれます。





C. BECHSTEIN

FACTEUR DE PIANOS
FOURNISSEUR DE:

S. M. L'EMPEREUR D'ALLEMAGNE
S. M. L'IMPÉRATRICE D'ALLEMAGNE
S. M. L'EMPEREUR DE RUSSIE
S. M. L'IMPÉRATRICE FRÉDÉRIC
S. M. LE ROI D'ANGLETERRE



S. M. LA REINE D'ANGLETERRE
S. M. LE ROI D'ITALIE
S. M. LE ROI D'ESPAGNE
S. M. LE ROI DE ROUMANIE
S. M. LE ROI DE WURTEMBERG

S. A. R. LA PRINCESSE HÉRITIÈRE DE SUÈDE ET NORVÈGE
S. A. R. LE DUC DE SAXE-COBOURG-GOTHA
S. A. R. LA PRINCESSE FRÉDÉRIC CHARLES DE PRUSSE
S. A. R. LA PRINCESSE LOUISE, DUCHESSE D'ARGYLL

BERLIN N.
JOHANNIS-STR. 6
Adr.-Télég.: BESTFÜGEL, BERLIN

PARIS (1^{ER})
PRÈS LA PLACE VENDÔME — **334 RUE SAINT-HONORÉ (HÔTEL DE NOAILLES)** — PRÈS LA PLACE VENDÔME
ADR.-TÉLÉGR.: BECHSTEIN-PARIS • TÉLÉPHONE: 300-62

LONDON. W.
40, WIGMORE-ST.
BECHSTEIN HALL
Adr.-Télég.: BECHSTEIN, LONDON



Modèle E. Grand modèle de concert
à 7 octaves $\frac{1}{2}$ du la à l'ut
à Cordes croisées — Châssis en métal — Sonnerie recouvert de métal —
Mécanique à répétition.
Longueur 2 m 70 — Largeur 1 m 57

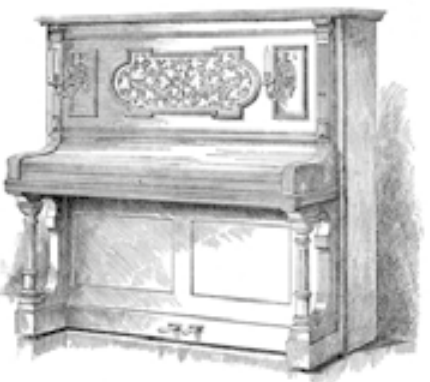


Modèle G. Demi-queue de salon
à 7 octaves $\frac{1}{2}$ du la à l'ut
à Cordes croisées — Châssis en métal — Sonnerie recouvert de métal —
Mécanique à répétition.
Longueur 2 m 10 — Largeur 1 m 53



Modèle A. Miniature $\frac{1}{2}$ de queue
à 7 octaves, du la au la
à Cordes croisées — Châssis en métal — Sonnerie recouvert de métal —
Mécanique à répétition.
Longueur 1 m 64 — Largeur 1 m 44

Modèle D. $\frac{1}{2}$ de queue, de concert
à 7 octaves $\frac{1}{2}$ du la à l'ut
à Cordes croisées — Châssis en métal — Sonnerie recouvert de métal —
Mécanique à répétition.
Longueur 2 m 45 — Largeur 1 m 58



Modèle B. Demi-queue
à 7 octaves $\frac{1}{2}$ du la à l'ut
à Cordes croisées — Châssis en métal — Sonnerie recouvert de métal —
Mécanique à répétition.
Longueur 2 m 05 — Largeur 1 m 56



Modèle 8. PIANO DROIT
à 7 octaves $\frac{1}{2}$ du la à l'ut
à Cordes croisées — Châssis en métal — Sonnerie recouvert de métal —
Mécanique à répétition.
Hauteur 1 m 50 — Largeur 1 m 65 — Profondeur 0 m 69



Tous nos modèles de pianos à queue et de pianos droits se font aussi en frisé, ornés de sculptures, de peintures vernis Martin, de bronzes ciselés et en tout autre genre d'ornementation, à des prix spéciaux.

Plan de Gaudin, Berlin 1910

100年以上たった、幾千ものベヒシュタインピアノはいまなお購入者の子孫達に引き継がれ、彼らからの感謝の手紙や写真がそれを証明していますドイツにあるベヒシュタイン工場は伝統を引き継ぎさらに未来へ錬磨し続けます。

ベヒシュタインは現在ヨーロッパ最大の高級ピアノメーカーです。
創業者のカール・ベヒシュタインはこの成就を誇りに思うことでしょう。
会社もまた、彼の信念に献身しています。

最後に、最高級ラインであるベヒシュタイン・コンサート・シリーズは、ピアノ製造における限界に挑戦しています。世界中のエリートピアニストはコンサートのステージで、録音スタジオで、この傑作を演奏することに幸せを感じています。

ベヒシュタイン・センターの新設で売上は上昇し、ベヒシュタインが提供するコンサートはたちまちその街の文化生活の大切な一部となっています。ベヒシュタインはアジアやアメリカ、西ヨーロッパ、特にロシアやウクライナなど、20世紀の変遷のさなかもベヒシュタインという名の魅力を留め続けた地でも同様に成功を取めています。

2007年、4,000台以上のピアノを販売し3,500万ユーロ近い売上を達成しました。サミックとの提携は終わり、アジアやアメリカの市場に直接参入しています。

ステファン・フライムートの一族が主要株主となり、世代の変化に応じた会社となるよう改革を重ねています。とりわけ、独自のハンマーヘッド製造、鋳鉄フレームや外装に特化した専門部署の設立などです。これらのセンセーショナルな展開は、サプライヤーからの独立性を強化し、加えて最高の品質を確保します。

今日多くのピアノメーカーがアジア資本に支配されていく中、ベヒシュタインは、ドイツ資本の高級ピアノメーカーとしては最も新しいメーカーです。

2012年、良く知られているヴィクトリア女王の黄金のピアノのレプリカが、高級モデルラインに新たに加わりました。同時にベヒシュタインは初心者向けのドイツ人チームにより管理されて中国市場で販売を行っているピアノ会社との連携を開始しました。

また、エレクトロニクス・サウンドモジュールの分野で新しい方針を打ち出しました。2016年には、初のデジタルソフトウェア・インストゥルメントを扱うベヒシュタイン・デジタル社を設立しました。

2017年には、ステファン・フライムートが舵を受け継ぎました。
ベヒシュタインは、自らの信念に忠実でいます。すぐれた品質と伝統の保持者であるベヒシュタインは、未来に向かってまた歩き始めているのです。

そう、他とは違う。それがベヒシュタインなのです！

99

Credits

© 2018 C. Bechstein Pianofortefabrik AG
Kantstrasse 17 · 10623 Berlin, Germany
Phone: +49 (0)30 2260 559 59
sales@bechstein.com

www.bechstein.com
www.facebook.com/BechsteinPianos
www.twitter.com/Bechstein1853

Looking back: Norbert Ely
Photography: Deniz Saylan, Eric Bohr,
Andreas Tschink, Bechstein archive

*C. Bechstein reserves the right to make
technical, finish or measure-related changes
on any part of any model without notice.*

